

県立図書館耐震改修等工事に伴う移転等業務
業務内容説明書

愛媛県立図書館

目次

1 耐震改修等工事・移転業務の概要

2 搬入手順

- ・業務対象範囲
- ・業務スケジュール(案)
- ・搬入元(仮設図書館、外部倉庫A・B)
- ・開架図書(来館者が手に取れる図書)
- ・閉架図書(バックヤードに保管している図書)
- ・その他物品(備品)

3 その他

【備考】説明にあたっての前提条件(目安)

- ・書架1連当たりの棚板幅は90cmとし、35冊程度の図書が並ぶものとしします。
- ・段ボール1つあたりの大きさは、幅50cm×奥行35cm×高さ35cm程度とし、図書が35冊が入るものとしします。
- ・搬出スケジュール(案)の作成にあたっては、8～10名程度/日の人役を想定しています。(書架解体・組立人役は除く)

1 耐震改修等工事・移転業務の概要

1.1 県立図書館耐震・機能向上改修事業費

令和7年度当初予算(案)
予算額 380,495千円

利用者の安全・安心の確保と施設の機能向上を図るため、耐震改修工事を実施するとともに、トイレの洋式化などの利用環境の改善対策及び外壁改修などの老朽化対策を行うほか、完全閉館となる工事期間中も図書館サービスを継続させるため、仮設図書館を設置・運営する。				今回要求	予算額	国	他	県
					380,495	48,402		332,093
				前年度予算額				
指標	施策	9 スポーツや文化芸術などの充実	現状値 44.9% (R4年度)	当初	95,800	5,180		90,620
		KGI スポーツや文化活動、学習活動の実施率	目標値 54.1% (R8年度)					
	細施策	9-4 読書活動の推進	現状値 4.2冊 (R5年度)	補正	226,323	31,475		194,848
				計	322,123	36,655		285,468
				目標値 4.9冊 (R8年度)				

事業イメージ	KPI 県立図書館の耐震・機能向上化率 (R8年度内の事業完了を目指す)	現状値 1.3% (R5年度)	目標値 100% (R5~8年度累計)	事業概要															
耐震・機能向上改修 [工事期間:R7.2~R8.5]				1 耐震・機能向上改修工事費 348,175千円 図書館の耐震改修、利用環境改善・老朽化対策工事に要する経費 〔債務負担行為限度額 896千円〕 設計意図伝達業務の令和8年度分に対する債務負担行為を設定する。															
<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能の確保 (耐震指標:Is値0.38→0.7以上) 施設の機能向上 (利用環境改善・老朽化対策) 工事期間中は 完全閉館 ✓安全・迅速な施工 ✓経費削減																			
耐震改修	耐震壁・鉄骨ブレース等の増設、既存壁の補強			2 仮設図書館移転・運営事業費 32,320千円 完全閉館に伴い設置・運営する仮設図書館(アイテムえひめ)の賃借料や工事支障物(図書等)の一時保管等に要する経費															
機能向上改修	利用環境改善対策 トイレの洋式化・乾式化、照明器具のLED化 等 老朽化対策 外壁・内壁、床面改修、空調設備改修 等																		
《整備スケジュール》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改修工事</td> <td></td> <td>設計期間 R5.8~R6.8 (13月)</td> <td>発注準備 荷物移転</td> <td>工事期間 R7.2~R8.5 (16月) → 開館 R8.8頃</td> </tr> <tr> <td>仮設図書館</td> <td></td> <td></td> <td>※閉館見込期間(R6.11~R8.7) 荷物搬入 仮設図書館 設置・運営 R7.2~R8.5 (16月) 荷物搬出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	5年度	6年度	7年度	8年度	改修工事		設計期間 R5.8~R6.8 (13月)	発注準備 荷物移転	工事期間 R7.2~R8.5 (16月) → 開館 R8.8頃	仮設図書館			※閉館見込期間(R6.11~R8.7) 荷物搬入 仮設図書館 設置・運営 R7.2~R8.5 (16月) 荷物搬出	
区分	5年度	6年度	7年度	8年度															
改修工事		設計期間 R5.8~R6.8 (13月)	発注準備 荷物移転	工事期間 R7.2~R8.5 (16月) → 開館 R8.8頃															
仮設図書館			※閉館見込期間(R6.11~R8.7) 荷物搬入 仮設図書館 設置・運営 R7.2~R8.5 (16月) 荷物搬出																
〇完全閉館への対応 仮設図書館移転・運営 [仮設図書館運営:R7.2~R8.5]																			
<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中もできる限り県民サービスを維持するため、仮設図書館を設置し、図書の閲覧をはじめとした図書館サービスを継続 仮設図書館 アイテムえひめ (3F展示場 アースホール・スカイホール(1,060㎡))																			

仮設図書館(アイテムえひめ)と外部倉庫に搬出・保管している物品を堀之内に搬入し、県立図書館の運営再開に向けた業務

1 耐震改修等工事・移転業務の概要

【耐震改修工事】

R7.2～R8.5末(※2週間以内の工事完了検査ののち、引き渡し)

【移転業務期間(予定)】

R8.6.13～R8.8.21(約2か月) [R8.8.22リニューアルオープン予定]

※現時点の想定であり、変更となる可能性がある。

※業務期間中は図書館を完全閉館とするため、終日作業可

【業務条件】

- ・作業は、平日(土曜日、日曜日及び祝日を除く)8時30分から17時00分までを基本とすること。
- ・搬入経路は、西堀端(国道196号)から県美術館北側及び東側を通行するルートとすること。

(留意事項)

- ※通勤・通学時間帯の搬入出は極力避けること。
- ※交通整理員の配置は任意とする(前回業務においては未配置)。
- ※作業期間中の公園内イベントスケジュールについては、別途共有予定
- ※車両止め(バリカー)の鍵は貸与する。
- ※アイテムえひめ側において週末に大規模イベントが開催される場合は、当該週の金曜日における搬出作業は極力避けること。
- ※搬入口は、県立図書館正面玄関及び県美術館南側との間にあるスロープを使用すること(2tトラック程度まで利用可)。



【搬入元】

- ①仮設図書館[アイテムえひめ](松山市大可賀2丁目1-28)
- ②外部倉庫A[現開架図書中心](松山市空港通6-13-5)
- ③外部倉庫B[書架等備品中心](松山市和気町1丁目563-13)

1 耐震改修等工事・移転業務の概要

【留意事項】

- ・来館者利用スペースを中心に書架等を大幅に更新する予定であるため、新規整備分の備品の搬入、書架の組立て及び所定位置への設置は、納品業者において実施

※本業務においても相当数の備品の廃棄が生じる想定

- ・今回の工事で、建物内部で壁の増し打ちやブレースを設置するため、フロア内寸が変更となることから、書架を配置しながら位置を調整することを想定

- ・書架の設置に際しては、耐震対策のため、床・壁面にアンカー固定することを条件とする。

※新規整備分の備品を除く、大型キャビネット等の固定を含む。

- ・図書の配架作業については、配置場所(NDC:十進分類表に基づく、分野別の資料配置)の決定後、入札公告時に改めて提示

※「梱包資料NO.15→一般図書室NO.55の書架」のように、搬入先がわかるよう指示予定

※現時点では、工事前の状態に戻すことをベースとした業務量を想定

- ・書架への資料配置に時間を要することを想定しており、『2 搬入手順(移転業務スケジュール(案))』(P.11)の資料整理作業の際、図書館職員(司書)の補助として、2名の追加人員の配置をお願いしたい。(整理作業 延べ30日(+5)×2人役)

- ・図書館システム関連機器(大型サーバー含む)については、別業者が搬出予定

- ・図書館職員(20名弱程度)も同時に移転業務にあたることから、双方、協力のもと、柔軟に対応したい。

- ・梱包資材については、仮設図書館での開架資料分等を想定(段ボール1,500箱程度)

1 耐震改修等工事・移転業務の概要

【参考】前回の移転業務について

①移転業務の状況

- ・契約期間：R6.11～R7.2中旬（実業務期間 R6.11～R7.1中旬 土日祝、年末年始除く）
- ・業務時間：8:30～17:00
- ・1日当りの平均人員：6名（最大9名）
※うち、書架の解体作業（日数：7日程度、1日当りの人員8名程度）
- ・使用車両：2tロング車×2台
※1車当り1日2～2.5便程度

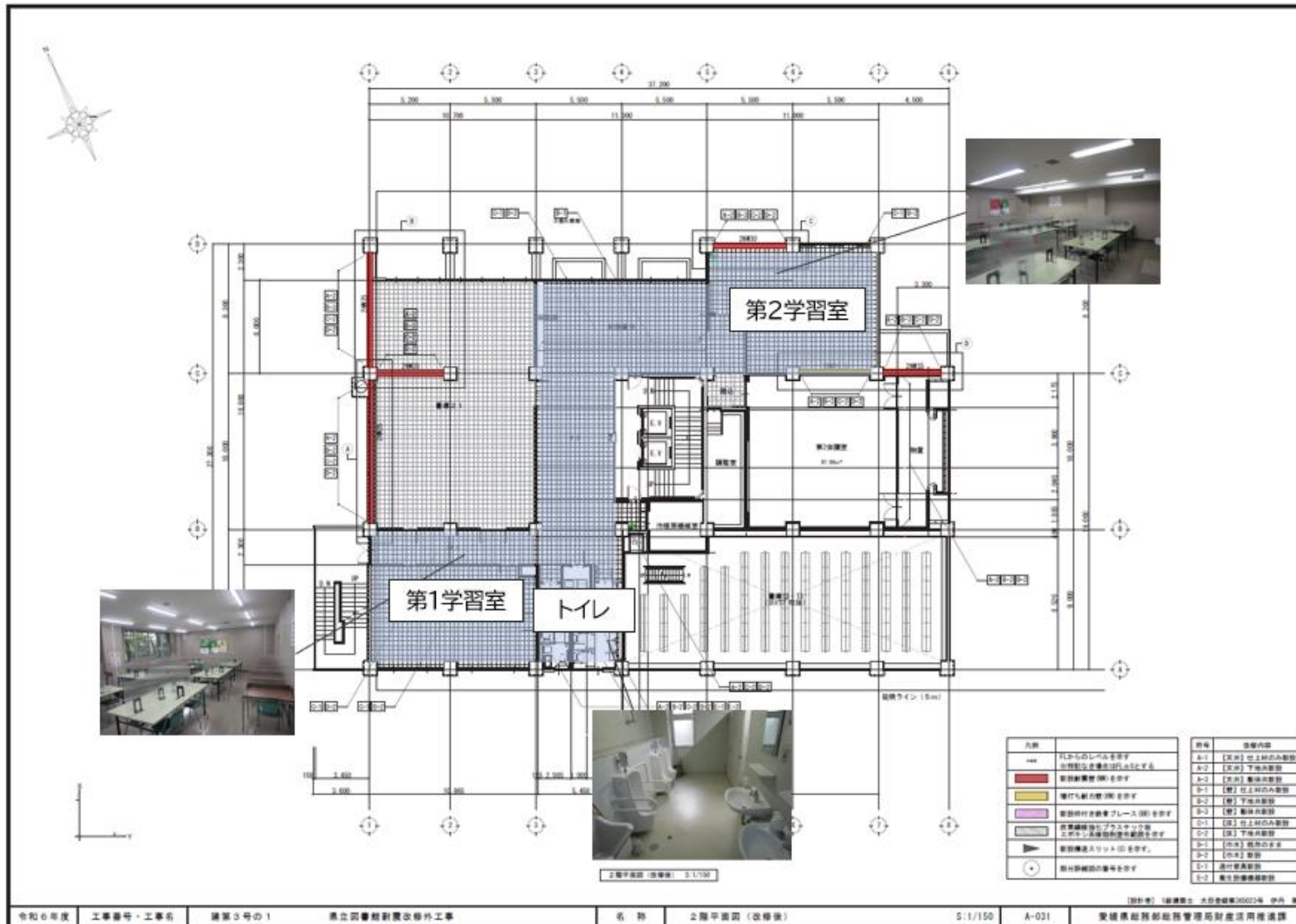
- 
- ✓ 前回移転業務時より期間が短いほか、梅雨時期とも重なる。（作業効率↓）
 - ✓ 新規購入資料をはじめ、取扱い物量は前回より増える見通し

②作業方針

- ・工事等に支障のない範囲で、なるべく館内の同じ階のフロアに移動・残置
- ・段ボールに収まる小型物品は、図書館職員により事務用品等とまとめて梱包
- ・書架の解体作業については、幅180cm×奥行50cm×高さ180cm程度を超えるものを対象とし、一定の強度があるものについては、解体しないまま搬出・移動
- ・資料(図書)については、ラベル貼付により、内容物が分かる状態で管理

【参考】主な施工フロアと工事前の状況 2

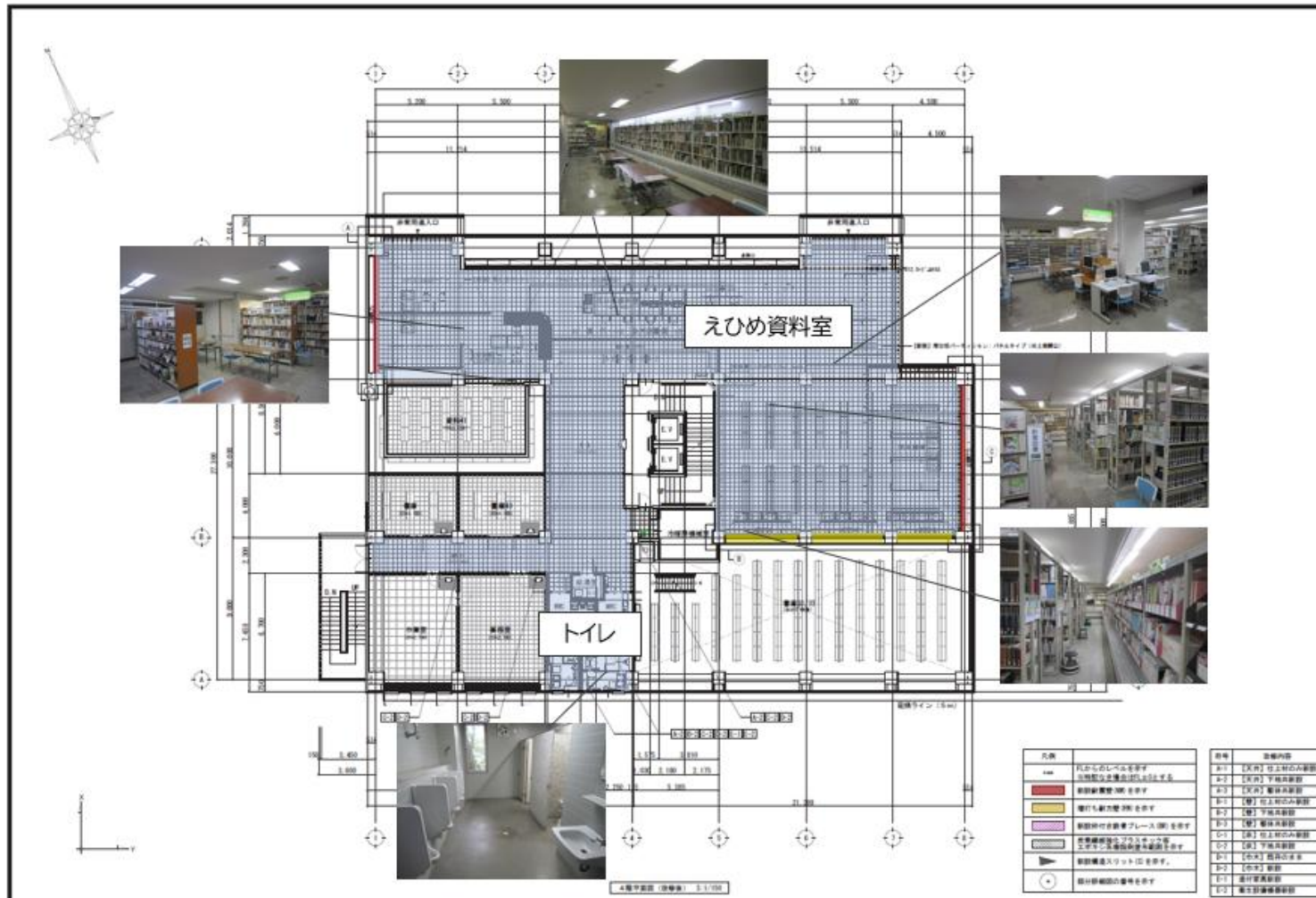
2階



令和6年度 工事番号・工事名 第3号の1 県立図書館耐震改修工事 名称 2階平面図 (改修後) S:1/150 A-021 設計者 建築士 大田建設事務所 2023年 改修 費 2億5,000万円

【参考】主な施工フロアと工事前の状況 4

4階



令和6年度 工事番号・工事名 建築3号の1 県立図書館耐震改修外工事 名称 4階平面図 (改修前) 0:1/150 A-035 愛媛県立図書館耐震改修業務対産活用推進課

2 搬入手順(業務対象範囲及びフロー)

別紙資料① 参照

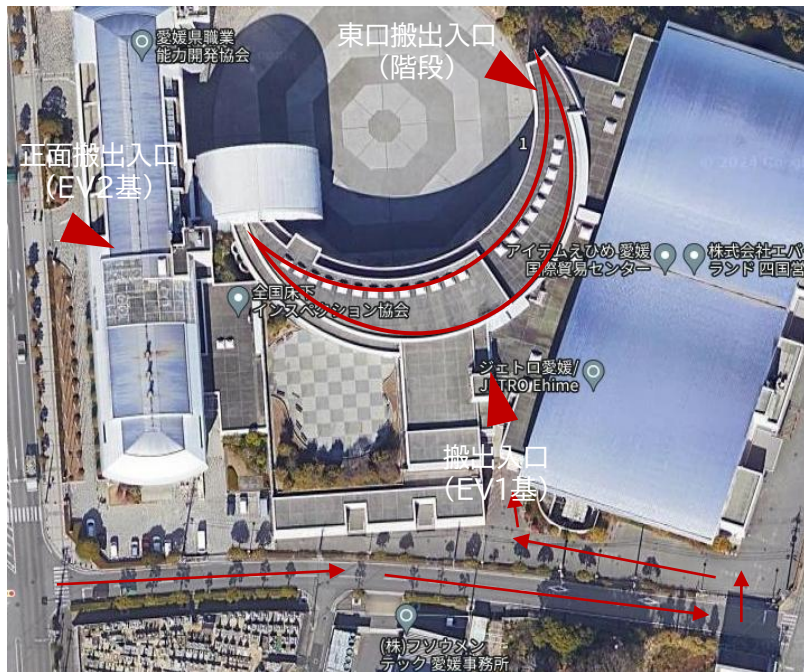
2 搬入手順(移転業務スケジュール(案))

別紙資料② 参照

2 搬入手順(搬入元(仮設図書館))

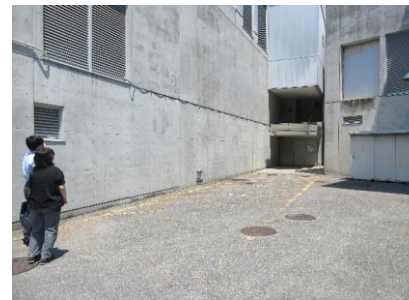
～仮設図書館(アイテムえひめ)～

住所:松山市大可賀2丁目1-28(県立図書館からの距離:6.9km)



※アイテムえひめ南側東口から進入
※3Fスカイホール・アースホールから搬出
※当該ホールの搬出入口が1カ所(EV1基)であることから、正面入口、東口の使用も検討

【搬出入口】



【エレベーター間口】



エレベーター開口
(開口950×奥行1,400mm)

【スカイホール】



【アースホール】

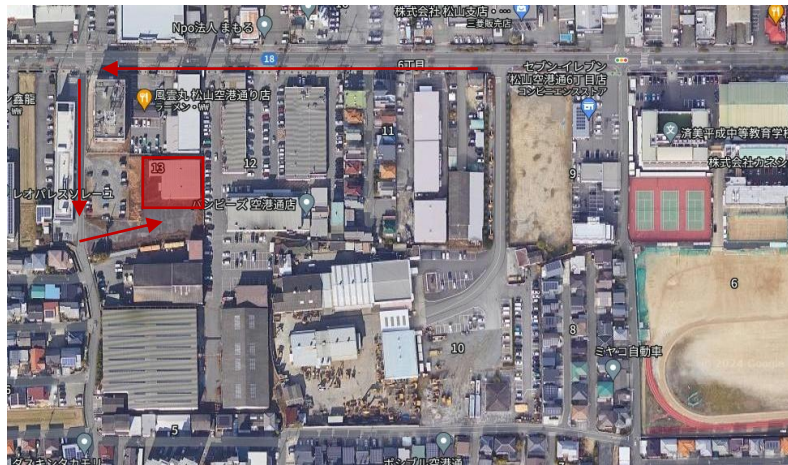


2 搬入手順(搬入元(外部倉庫A))

～外部倉庫A～

名称:NTT吉田浜倉庫

住所:松山市空港通6-13-5(県立図書館からの距離:4.4km)



【現開架図書中心】

※鉄骨スレート平屋建て[521㎡]

※倉庫入口から2tロング車侵入可能

※入口2か所

※倉庫内に**建築用単管足場による保管棚設置**

※保管段ボール数(大) 約2,740箱(95,900冊)

1F 子ども読書室 400箱(14,000冊)

3F 一般図書室 1,660箱(58,100冊)

4F えひめ資料室 680箱(23,800冊)

【施設外観】



【搬出入口】



搬出入口東側2か所
(車両進入可能)

【施設内観①】



【施設内観②】



2 搬入手順(搬入元(外部倉庫A_レイアウト))

別紙資料③ 参照

2 搬入手順(搬入元(外部倉庫B))

～外部倉庫B～

名称:井関物流(大惣2号)倉庫

住所:松山市和気町1丁目563-13(県立図書館からの距離:8.0km)



〔書架等備品中心〕

※鉄骨スレート4階建て(4階部分借用)[450㎡]

※プラットフォーム、テーブルリフトあり

※解体書架については、11型パレット(1㎡/枚)上で保管

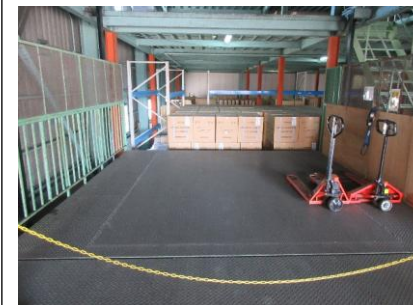
※プラットフォームまでの荷役については、井関物流(株)に委託予定

【施設外観】



プラットフォーム
(荷台高約1.0m)

【搬出入口】



テーブルリフト
(耐荷重4,000kg)

【施設内観①】



解体書架は部材ごとに結束し、
11型パレット上で保管

【施設内観②】



2 搬入手順(開架図書)

～開架図書～(1F子ども読書室、3F一般図書室、4Fえひめ資料室)

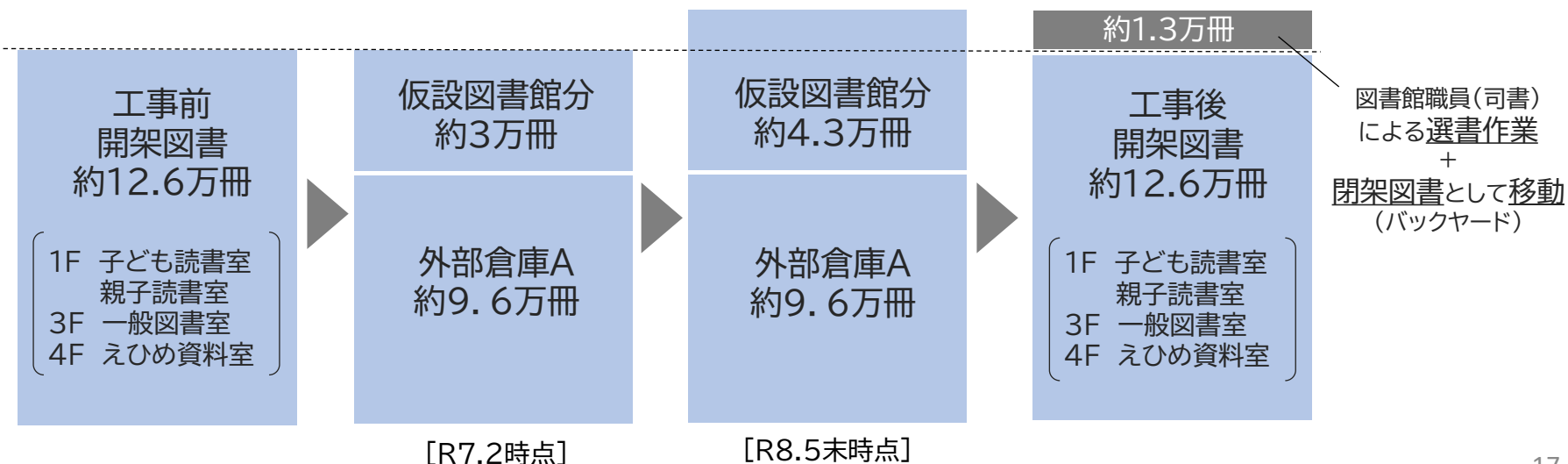
○開架図書スペース作業(1F子ども・親子読書室→4Fえひめ資料室→3F一般図書室)

○開架図書 仮設図書館(約4万3,000冊) + 外部倉庫保管(約9万6,000冊)の計約13.9万冊 (段ボール大 約4,000箱弱)

○搬入の流れ

- ・書架の搬入・組立→資料搬入→図書館職員(司書)による選書+書架配置
※仮設図書館資料+外部倉庫A資料→堀之内での開架図書(下段「作業イメージ」参照)
- ・書架ごとに分野別の資料配置(NDC:十進分類法による書架ナンバリング)を指定
- ・作業スペースが確保できない可能性もあることから、段階的に資料搬入することや、2F自主室を荷捌きスペースとして利用することも検討(仮設図書館分は原則開架)
- ・仮設図書館資料の梱包は、図書館職員(司書)により実施

[資料整理作業イメージ]



2 搬入手順(開架図書)

[作業手順]

①搬入室ごとに新レイアウトに応じた書架ナンバリング

※書架の大幅な更新のため、レイアウトを大幅に変更する予定であり、入札公告時提示

②仮設図書館と外部倉庫Aの資料(段ボール)には、書架ナンバリングを記して搬入

③書架番号順に書架上段の左側から箱詰め(1連(90cm)=段ボール1箱想定)

④余剰資料については、適宜、指定するバックヤードに移動

⑤図書館職員(司書)の補助として、2名の追加人員を配置をお願いしたい。

2 搬出手順(閉架図書)

～閉架図書～(地下各室、書庫21、書庫52等、書庫11・31(積層書庫))

○書庫11・31(積層書庫)以外は、図書館職員(司書)が行うため、物量の多い書庫に関しては、追加人員による補助をお願いしたい。

○閉架図書に関しても、段ボールにラベルを付して搬出元が分かる状態

〔作業手順〕

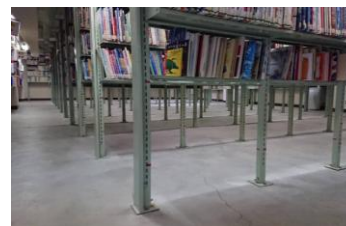
[ラベル記載例]

	室名	書架番号	箱番号	請求記号
搬出元	書庫 11	49	2 / 5	—
				—
				—

搬出先	アイテムえひめ 開架S	
	NTT吉田浜倉庫	(保管先NO)
	書庫	多目的ルーム

搬出元
・書庫11
・49番書架
・5箱中2箱目
(上から2巡目)
に戻し入れる。

[書庫11・31(積層書庫)]



- ・床面改修のため、1・2段目を撤去
- ・書庫11・31ともに構造は同じ(棚板数230×2段)

※書庫52については、棚板を跳ね上げているため、復旧(ボルト締め)を依頼

2 搬出手順(その他物品(備品・書架))

別紙資料④・⑤・⑥参照 (※現時点での見込みであり、増減の可能性あり)

～備品～

○方針

- ・資料同様、搬入先を各物品ごとに明記した形で搬出予定
- ・大幅な備品関係の更新により、外部倉庫Bの閲覧用机(4人用・1人用)、閲覧用椅子や小型書架等は、直接、物品廃棄業者(松山市内)に搬送する可能性あり。
- ・段ボールに収まる小型物品については、図書館職員により事務用品等とまとめて梱包する。
- ・事務室のキャビネット等の大型備品についても、耐震対策のため、床・壁面にアンカー固定すること。(5台程度、業務終盤を想定)

～書架～

○方針

- ・主に閉架書架(地下、書庫)については、一定数は設置や組み立てと並行しながら、現地での調整も必要と考えており、図書館職員との協議の上、柔軟に対応すること。

※工事による書庫の内寸のズレ等により、連数を変更することも想定

- ・図書館職員の意向として、できるだけ資料の容量を確保したいため、小型書架(未解体)を中心に館内での移動を行い、最大限の収納効率を図るものとする。(6/22～26)
- ・小型書架を除く、現時点の書架の組み立て連数等は、以下のとおり(段数は7段2,250mm想定)

	複式	単式
再組立て	118	69
移動(未解体)	11	21

3 その他

○請負業者の損害保険の加入について

- ・本業務の実施に関し、県または第3者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない旨、契約書に定める予定。
- ・図書については、購入価格が明確なものもあれば、過去の行政資料や寄贈図書のように評価額不明なものも混在しており、予め総評価額等を設定しない。(損害保険に加入する場合は、一般的な引越関連の保険で可)
- ・なお、行政資料をはじめ、古書の類については、原則、館内移動により残置しているため、破損等のリスクは少ないものと思料しており、万一、破損等が生じた場合は、両者協議により対応を検討することとしたい。(評価額が設定できないものについては、過度な賠償を求めることはできないものとの認識)

○委託契約の変更について

- ・今回の業務については、物量が大量であるなど、当初の想定より大幅な変更が生じる場合は、受託業者と適宜協議の上、契約変更(業務追加)等により対応したい。

○共同企業体(JV)による入札について

- ・業務期間が2月の長期に及ぶほか、人役の確保や車両の手配等を考慮し、共同企業体による入札も認める方向